木更津市立木更津第二中学校
〒292-0801　千葉県木更津市請西941番地
☎0438(36)2280　FAX0438(36)2233
E-mail:kisarazu2-j@kisarazu.ed.jp
https://www.fureai-cloud.jp/kisa-kisarazu2-j

CLIMAX

木二中 学校だより　令和7年7月7日
No.14／99　校長　山元　竜二

ある交通事故報道から

Yahoo Japan ニュース「読売テレビ」によると、兵庫県姫路市で６月18日未明に信号無視で警戒中のパトカーから逃亡したバイクがトラックと衝突し、バイクを運転していた17歳の高校生が搬送先で亡くなったとのこと。男子高校生は、無免許運転だったそうです。＜情報Sourse：Yahoo Japan ニュース 読売テレビ＞（ニュース詳細はサイトを参照してください。）

来週17日木曜日には令和７年度第１学期の終業式を迎え、夏季休業になります。担任の先生や生徒指導担当の阿部先生からも夏休みの過ごし方についてのご指導があるかと思いますが、本当に他人事ではなく自分事として話を聞いてほしいし、交通事故だけじゃなく水難事故や熱中症事故、その他事件等に巻き込まれることなく、どうか無事に２学期を迎えてほしいと強く、強く思っています。

木二中生の皆さんは、冒頭のニュースを聞いてどう感じただろう？無免許でバイクを運転し、信号無視、パトカーの制止から逃亡したあげく、まったく関係のないトラックに衝突して命を落とす。想像力をはたらかせてこの事故について考えてみてください。

この記事には約4,000件のコメントが寄せられていました。亡くなってしまった少年に関するもの、追跡した警察官に関するもの、衝突されたトラック運転手に関するもの、その他数多くのコメントがありましたが、私がここで木二中生の皆さんに伝えたいことは、「この一連の事故で誰が一番悪いのか？」ということではなく、「どうすればこのようないたましい事故は防げるのか？」ということ。責任の所在を明らかにする作業はあくまでこの事故のすべての当事者とその家族等関係者、警察等関係機関であって、我々第三者は申し訳ないことかもしれないけど、この事故を教訓に二度と類似の事故を起こさないようにするためにはどうしたらいいかを真剣に考えること。それしかないと思います。

ところがどうだろう？悲しいことに、青信号をしっかり守っていた小学生の列に車両が、とか、高速道路上を逆走した車両が、とか、どれだけ気をつけていても交通事故の報道は連日絶えることはありません。メディアで報道されなくても私たちが住むこの木更津市内においても交通事故は本当に絶えることがない。だからこそ毎年、毎学期、長期休業前だからとか関係なく、ほぼ毎日のように「事故には気をつけてほしい」、「自転車の乗り方を考えてほしい」という話になるのです。皆さんには「またかよ」とは思ってほしくないのです。

冒頭の兵庫県姫路市の事故についてもパトカーは信号無視をしたバイクが危険だと判断し、少年を守ろうと制止したわけだし、命を落としてしまった男子高校生にだって心配してくれている家族がいたはずです。最悪の結果になってしまったわけですが、加害者も被害者も、そしてその家族も関係するすべての人の未来も不幸にしてしまうのが交通事故。後悔の他に何も残らないのが交通事故。文明が発達し、衝突防止システムが搭載されようと自動運転が実用化されようとそれでも起こってしまうのが交通事故なんです。

小中学生、高校生の交通事故を未然に防ぐにはどうしたらいいのか。保護者の躾(しつけ)、学校での安全教育、仲間(友だち)のアドバイスといった、本当に地道な方法しかありません。だからこそ、「本当に他人事ではなく自分事として話を聞いてほしい。」になるということを皆さんには理解してほしい。

校長先生は学区に住んでいるので、街中で木二中生を見ない日はありません。中には危なっかしく自転車に乗る生徒もいれば、残念なことに二人乗りをしている生徒を見かけたこともあります。ヘルメットを被らず自転車で予想もできないような動きをする生徒も見ました。

皆さんには、同じ事を何度も何度も伝え続けます。加害者(自転車による)にも、被害者にもならないよう、交通事故には本当に、本当に気をつけてほしいと思います。命を落としてしまったら、「危ないことをしなければよかった」と後悔すらできなくなる。家族を悲しませることが絶対にないよう気をつけてほしい。ただ、ただそれだけです。